

方針 6 企業としての社会的責任を果たす取組み

SDGsを始めとする社会課題の解決に貢献することを経営の主眼とし、多様なステークホルダーとの共創等により本業を通じて当社ならではの社会価値を創出し、お客さま価値を高めることを目指します。

当社は、SOMPOホールディングスの「グループCSR※1重点課題」に基づき、さまざまな社会的課題に対し、企業としての社会的責任を果たすべく、取り組んでいます。また、「グループCSR重点課題」の取組みを通じ、SDGs※2の達成に向け取り組んでいます。

※1：「Corporate Social Responsibility」の略で企業の社会的責任と訳されます。

※2：2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに世界で達成すべき17の社会的課題に対する目標です。



2020年度の5つの重点課題



なお、2021年度にCSR重点課題の見直しを予定しています。

2020年度に実施した「グループCSR重点課題」の主な取組み

重点課題 1 防災・減災への取組み

防災教育の普及啓発「防災ジャパンダプロジェクト」(2014年～)

当社は、将来を担う子どもたちとその保護者を対象として、災害から自分自身・周囲の人を守るための知識や安全な行動を身につけてもらうことを目的に、「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を実施しています。

2020年度は、場所を問わず楽しく学べる動画コンテンツをご用意しました。ご家庭や学校でご活用いただけるよう、ワークシート、保護者・先生向け解説資料もあわせて当社公式ウェブサイトに掲載しています。



〈体験型防災ワークショップ〉



〈動画コンテンツ：紙食器づくり〉



参加人数：延べ72,000名以上(2021年3月末時点)

重点課題 2 健康・福祉への貢献

食品ロス削減に寄与する費用保険の提供

本商品は、貨物保険および運送保険の特約として食品事業者向けに提供し、まだ食べられるにもかかわらず、さまざまな理由で市場価値を失った食品をフードバンクに寄贈することにより、食品ロスを削減し、寄贈にかかる費用を補償します。

当社は、本業を通じて食品ロス削減に貢献するため、フードバンクとして多数の実績を有するセカンドハーベスト・ジャパンと連携することで、食品事業者が抱える課題解決に寄与できる仕組みを構築し、提供しています。

2020年度に実施した「グループCSR重点課題」の主な取組み

重点課題 3 地球環境問題への対応



SAVE JAPANプロジェクト(2011年～)

当社は、地域の環境団体やNPO支援センター、日本NPOセンターと協働し、毎年全国で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVEJAPANプロジェクト」を展開しています。2020年度は例年行われているフィールドワークの実施が困難となり、新たな試みとしてオンラインイベントの開催や動画の配信により、多くの地域市民の皆さまが生物多様性の取組みに参加する機会を提供しました。



〈フィールドワークの様子〉



〈オンラインイベントの様子〉

イベント開催：延べ870回以上
参加人数：延べ46,000名以上
(2021年3月末時点)

洋上風力発電事業者向け損害保険の提供

当社は、国内の洋上風力発電事業者を対象に、発電設備の建設・工事期間中だけでなく、操業開始後の自然災害などのリスクも一括して補償する、「洋上風力発電事業者向け損害保険「ONE SOMPO WIND サービス」を開発し、提供しています。また、洋上風力発電設備をとりまく台風などの自然災害、電気的機械的事故のリスクを確率的に評価した「リスク評価モデル」を東京大学と共同で開発しました。洋上風力発電事業者のリスクマネジメントに貢献し、安定的な経営を支援することで、気候変動の緩和に貢献していきます。



出典：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

重点課題 4 よりよいコミュニティ・社会づくり



文化・芸術を通じた取組み

1976年に社会貢献の一環で開館し、アジアで唯一ゴッホの《ひまわり》を鑑賞できる美術館として、これまで約600万人のお客さまにご来館いただきました。
2020年7月、本社ビル敷地内に建築された新たな美術館棟で、「SOMPO美術館」としてリニューアルし、さらなる文化・芸術の振興を通じて社会に貢献していきます。



〈SOMPO美術館 外観〉

「SOMPO SDGs月間」の開催

2020年12月には、SOMPOグループで「SOMPO SDGs月間」を開催しました。
損保ジャパンでは、SDGsの理解・促進およびSDGsを自分事として捉えてもらうことを目的に、社員向けに「SOMPO Earth Challenge～いつもよりちょっと地球のことを考える7日間～」と題したメールマガジンの配信や社内コミュニケーションツールを活用し、取組事例の紹介などを行いました。



〈プラスチックごみを減らすため
My バッグを持ち歩く社員〉

2020年度に実施した「グループCSR重点課題」の主な取組み

重点課題 5 ダイバーシティの推進・啓発



当社は、2003年からダイバーシティ&インクルージョンの推進に本格的に取り組んできました。まず、女性社員が仕事と家庭を両立しながらも働きやすく、そして働きがいのある会社の実現に向けて、制度や仕組みの構築・拡充を行ってきました。加えて、今では多様な人材の活躍支援と全社員の働き方改革の取組みを強化しています。

ダイバーシティ & インクルージョン学部の設定

損保ジャパン大学※に「ダイバーシティ & インクルージョン学部」を設立し、「ダイバーシティ時代のマネジメント～新しい価値の創出に不可欠なインクルーシブな組織づくりの実践～」を研究テーマにゼミナールを開講しています。全国のリーダーがゼミ生となり、多様な価値観や発想を取り入れビジネス変化に迅速・柔軟に対応する力を高め、ダイバーシティ & インクルージョンの理解浸透、意識改革に取り組んでいます。

※詳細はP.4をご覧ください。

「SOMPO LIVE (オンライン型講義)」の開催

社内外からの講師を招聘し、女性活躍、障がい者活躍、LGBT活躍などのテーマで全社員を対象に「SOMPO LIVE(オンライン型の講義)」を開催し、ダイバーシティ & インクルージョン推進の加速を図っています。アンコンシャスバイアスをテーマとしたLIVEには、約9,000名の社員が参加し、インクルージョンした組織づくりについて理解を深めました。



〈SOMPO LIVEの様子〉

当社は、経営理念である「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスを提供し、社会に貢献するため、5つの重点課題(P.22参照)を特定しました。

また、重点課題に取り組むにあたって、当社グループの強みを活かすアプローチ方法として3つを特定しました。さらに、新たな重点課題に即したグループCSR-KPI(重要業績評価指標)を策定したうえで、PDCAを通じた取組みを推進し、パフォーマンスの向上を目指しています。

3つの重点アプローチ

- ①金融機関やデジタル技術などを活かした革新的な商品・サービスの提供
- ②人材育成を意識したNPO/NGOなどをはじめとするさまざまなステークホルダーとの連携
- ③継続的に支援し、培ってきた文化・芸術を通じた取組み

特定プロセス、CSR-KPI(重要業績評価指標)、重点課題取組みの詳細は、公式ウェブサイト「グループCSR重点課題」をご覧ください。

<https://www.sompo-hd.com/csr/materiality/>

CSR経営の改善や向上に向けて、ステークホルダーと未来への対話を行うための重要なツールとして、社会的責任に関する取組みをまとめた公式ウェブサイトの「CSR」ページを活用した情報発信をしています。
また、SDGsの達成に向けた取組みをグループCSR重点課題ごとに簡潔に紹介する「SDGsブックレット」を発行しています。P.5をご覧ください。

公式ウェブサイトURL <https://www.sompo-hd.com/csr/communications/report/>

